

北の住まい設計社

『衣食住』すべてにこだわりを持ったモノづくりをしている会社です。

特に住まいと家具は、木の良さを最大限に生かし、手仕事で製作しています。

本社ショールームは、大雪山のふもと東川町にあります。

旭川市と隣接し、旭川空港からも車で20分ほどの距離です。

同敷地内には[カフェ&ベーカリー](#)も併設しています。

北海道 上川郡 東川町 東7号 北7線

tel.0166-82-4556

fax.0166-82-3775

営業時間 10:00~18:00 水曜定休



匠 工 芸

匠工芸は、北海道のほぼ中央、上川郡東神楽町にある木製家具の専門メーカーです。日本伝統の木工技術を、現代の暮らしを楽しく美しくする家具という道具に生かすため、手仕事を大切にしながら創意工夫を続けています。

〒071-1571

北海道上川郡東神楽町南1番通24番地

TEL 0166-83-4400

FAX 0166-83-4600



株式会社カンディハウス

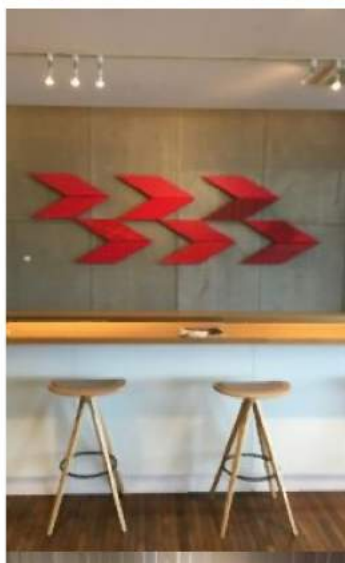
カンディハウスは言わずと知れた旭川を代表する家具メーカー。性能面でもデザイン面でも長く愛される家具作りを目指しているメーカーです。

国内外のデザイナーとの製品開発を積極的に行っています。

ショールーム・工場・ショップを併設しております。

住所〒079-8509
北海道旭川市永山北2条6丁目

Tel0166-47-9911
Fax0166-48-3100



旭川家具センター

旭川家具センターが新しくリニューアルOPEN。
I F D Aのメイン会場となります。

旭川とその近郊にはたくさんの家具メーカーがあります。

デザインテイストもつくり方も多彩な各社の製品を、1カ所でご覧いただけるのが、旭川家具センター。

展示会やイベントも季節ごとに行われ、北海道内、道外から多くのお客様が訪れる、旭川家具の拠点です。

旭川家具センター旭川市永山2条10丁目1-35
(旧 旭川家具センター)

営業 / 9:00~17:00

TEL 0166-48-4135



ニセウコロコロ

日常的でありながら、日常的でないもの。

忙しい日々を追われ、いつも望んでいるけれど、
なかなかかなわないもの…。

ニセウコロコロでそれを実現していただければ
幸いです。

どうぞごゆっくりとお過ごしください。

(ニセウコロコロHPより)

一棟貸しの小さなヴィラです。
設計・施工は、北の住まい設計社です。

時間を忘れてゆっくり・・・
そんな過ごし方が似合う宿でした。

〒071-1433
北海道上川郡東川町東3号北12
TEL&FAX：0166-82-4747



織田コレクション

「北欧の美しい日用品」の著者である、椅子研究家の織田憲嗣さんが、長年にわたって収集した北欧家具を中心としたコレクションです。織田コレクションは、織田さんが集めた1350名以上の名作椅子を中心とした世界屈指のコレクションです。

織田先生はこのコレクションを東川町に寄贈することを決意なさいました。

IFDAの開催期間にも織田先生の展示会が4会場で開催されます。



●デンマーク・デザインの魅力

織田コレクションと旭川

会期 2017年4月21日(金)～6月25日(日)

9:30～17:00 ※月曜休館

会場 北海道立旭川美術館(旭川市常磐公園内)

観覧料: 一般1,000(800)円

※()内は前売り及び10名以上の団体料金



●フィンランドデザイン展

会期 2017年4月21日(金)～6月25日(日)

9:30～17:00 ※月曜休館

会場 東川町文化芸術交流センター ホール

観覧料: 無料



●デンマークデザインの逸品たち

会期 2017年4月21日(金)～6月25日(日)

9:30～17:00 ※月曜休館

会場 東川町文化芸術交流センター ギャラリー1.2

観覧料: 無料

●北欧のグラフィックデザイン展

会期 2017年6月15日(木)～6月25日(日)

9:30～17:00 ※会期中無休

会場 東川町文化ギャラリー 第2展示室

観覧料: 無料

織田邸（夜）

織田さんは、20年前に家具づくりの町である北海道・旭川市近郊に居を移し、北欧ライフそのものの「美しい暮らし」を実践。

夜の織田邸は、癒しの空間でした。

数々のコレクションは、最初に置く場所を決め、間取りが決まったと言うこだわりの住まいです。貴重なコレクションにも関わらず、「お好きな椅子にお掛けください」と気さくに声をかけて頂き、座り心地を堪能しました。

低く下げたペンダントは光源が目に入らない高さに下げられていおり、スタンドを一か所、一か所点灯していくと、そこにも美しくディスプレイされたコレクションの数々が現れました。

織田先生によって集められたコレクションは時と国を超えて美しく調和していました。



織田 邸（朝）

朝の織田邸は、ピクチャーウィンドウからの光と雪原の素晴らしい景色が印象的でした。

森を切り開いて家を建てようと決意した織田先生の強い想いが感じられました。

織田先生のお話を聞くことができました。

- ・住まいを豊かな空間にする為には、家具を質の高いものにすることが大切である。間取りを決めてから家具を配置するのではなく、内～外への発想が大切。家具の質が空間、建物の質を高くする。統一感を出すには、テーマを持たせる、共通性を見出すことが大切。
- ・スタンダードラインを高く設定することが大切。普段選んでいる洋服な時計なども高い質のもので統一することにより、美意識が高められる。
- ・美しいデザインは時代を超え、長く受け継がれる。世の中にも認知される。

日本には、デザインミュージアムがありません。織田先生は、ぜひ、東川町にデザインミュージアムを開設することを望んでいらっしゃいます。ぜひ、実現するために、できることから始めたいと思います。

